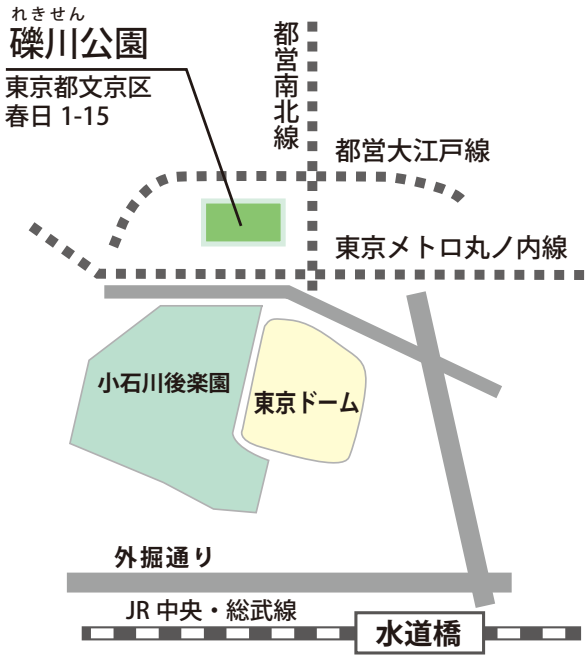
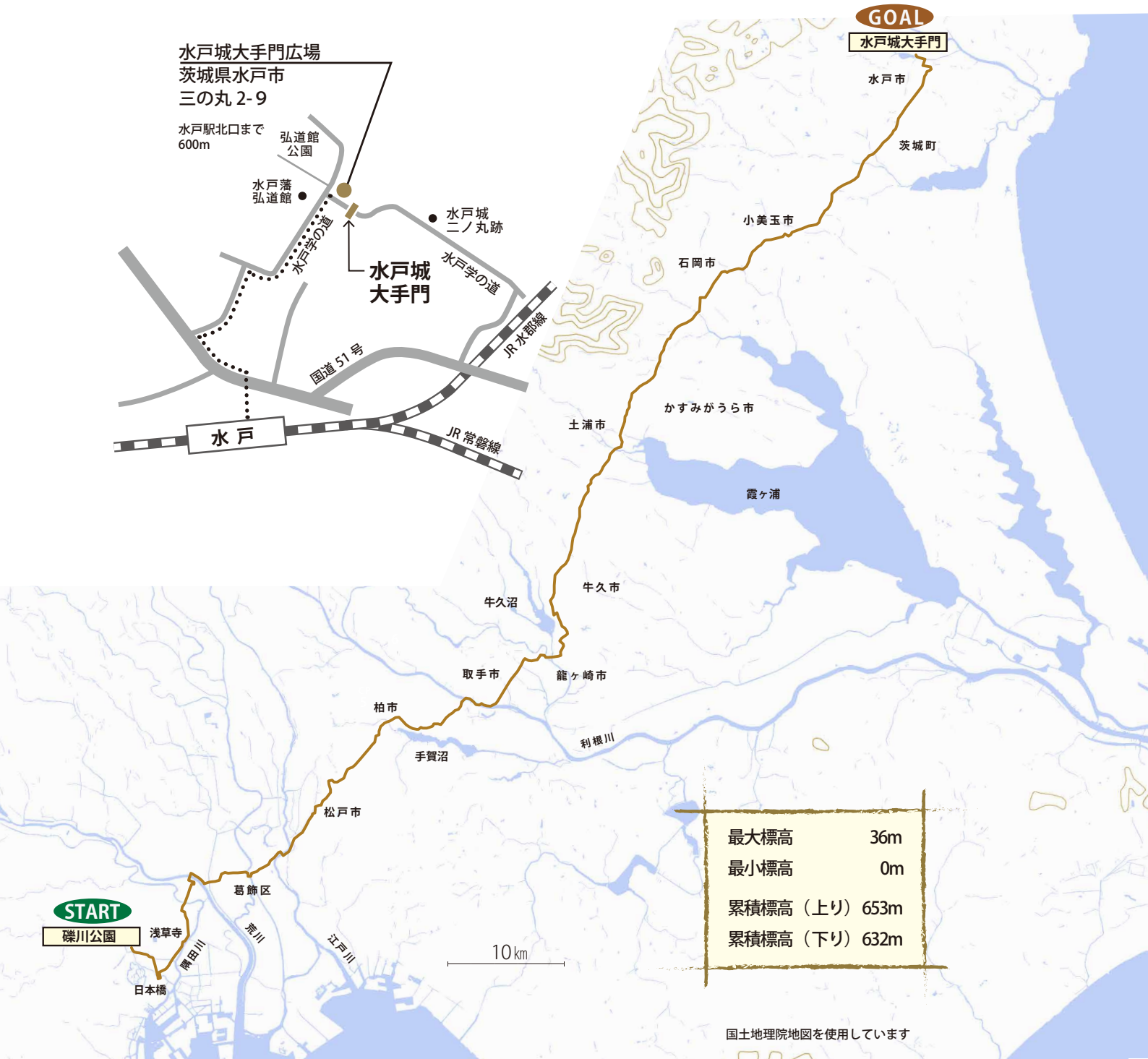
会場／コース



小石川後楽園、礫川公園は江戸時代まで水戸徳川家所有の土地でした。

小石川後楽園は水戸徳川家初代藩主・徳川頼房が江戸時代・寛永 6年（1629年）に江戸の中屋敷（明暦の大火後に上屋敷）に築造し、2代藩主・光圀の修治により完成した大名庭園です。現在は都立庭園であり、国の特別史跡及び特別名勝に指定されています。



最大標高	36m
最小標高	0m
累積標高（上り）	653m
累積標高（下り）	632m

国土地理院地図を使用しています